

Name : Gandhi

Birth Date : Sat Oct 2,1869 08:24:00

Timezone,DST Timezone : -05:21:00 DST: 00:00:00

Place of Birth : Porbandar INDIA (general) India

Longitude : 69E36'00

Latitude : 21N38'00

JuR 28:08			
Nakshatra As Swati 2 Ra/Sa Su Hasta 3 Mo/Sa Mo Ashlesha 4 Me/Sa Ma Vishakha 2 Ju/Ke Me Swati 2 Ra/Sa Ju Kritika 1 Su/Mo Ve Vishakha 2 Ju/Me Sa Jyeshtha 2 Me/Ve Ra Pushya 4 Sa/Ra Ke Shravana 2 Mo/Ra		p# lrd/sb 2 Ra/Sa 3 Mo/Sa 4 Me/Sa 2 Ju/Ke 2 Ra/Sa 1 Su/Mo 2 Ju/Me 2 Me/Ve 4 Sa/Ra 2 Mo/Ra	
Ke 13:39		Ra 13:39 Mo 28:14	
Sa 20:19		As 11:18 Me 11:44 Ve 24:25 Ma 26:22	
		Su 16:54	

Navamsha

Mo		Ke Ve Ma	Su
Sa As Me			
JuR	Ra		

AK	AmK	BK	MK	PK	GK	DK
Mo	Ju	Ma	Ve	Sa	Su	Me

Sign	Distance	SB
As Lib	07:18	As 1.03
Su Vir	07:05	Mo 1.21
Mo Can	03:14	Ma 1.28
Ma Lib	12:22	Me 1.41
Me Lib	08:15	Ju 1.27
Ju Ari	09:08	Ve 1.24
Ve Lib	20:25	Sa 1.60
Sa Sco	02:19	Ra
Ra Can	02:39	Ke
Ke Cap	01:39	

Vimshottari

- Me-Sa 04-24-1869
- Ke-Ke 01-02-1872
- Ke-Ve 05-30-1872
- Ke-Su 07-30-1873
- Ke-Mo 12-05-1873
- Ke-Ma 07-06-1874
- Ke-Ra 12-03-1874
- Ke-Ju 12-21-1875
- Ke-Sa 11-26-1876
- Ke-Me 01-05-1878
- Ve-Ve 01-02-1879
- Ve-Su 05-03-1882
- Ve-Mo 05-04-1883
- Ve-Ma 01-01-1885
- Ve-Ra 03-03-1886
- Ve-Ju 03-03-1889
- Ve-Sa 11-02-1891
- Ve-Me 01-02-1895
- Ve-Ke 11-02-1897
- Su-Su 01-02-1899
- Su-Mo 04-21-1899
- Su-Ma 10-21-1899
- Su-Ra 02-26-1900
- Su-Ju 01-21-1901
- Su-Sa 11-09-1901
- Su-Me 10-22-1902
- Su-Ke 08-28-1903
- Su-Ve 01-03-1904
- Mo-Mo 01-02-1905
- Mo-Ma 11-03-1905
- Mo-Ra 06-04-1906
- Mo-Ju 12-04-1907
- Mo-Sa 04-04-1909
- Mo-Me 11-03-1910
- Mo-Ke 04-03-1912
- Mo-Ve 11-02-1912
- Mo-Su 07-04-1914
- Ma-Ma 01-03-1915
- Ma-Ra 06-01-1915
- Ma-Ju 06-18-1916
- Ma-Sa 05-25-1917
- Ma-Me 07-04-1918
- Ma-Ke 07-01-1919
- Ma-Ve 11-27-1919
- Ma-Su 01-26-1921
- Ma-Mo 06-03-1921
- Ra-Ra 01-02-1922
- Ra-Ju 09-14-1924
- Ra-Sa 02-08-1927
- Ra-Me 12-15-1929
- Ra-Ke 07-03-1932

Dreshkana

Mo		Ke	Ve Ma
As Me			Sa
Su			
JuR	Ra		

Chaturthamsha

Su	Mo Ke	Sa	
			Ve Ma
As Me JuR			
		Ra	

Saptamsha

Ve	Ma Ra		Su
			Mo
As Me		Ke JuR	Sa

Dashamsha

			Ve Ma
			Ra
JuR Ke As Sa Me			
Mo		Su	

Dwadashamsha

JuR Su			Mo Ke
As Me			Sa Ve
			Ma
Ra			

Shodashamsha

		Ve	Ma Sa
			JuR Mo
	Ra Ke	As Me	Su

Samudaya Ashtakavarga

33	21	25	26
31			35
26			39
28	24	22	27

Binnastaka Varga for Sun

4	4	4	4
3			5
2			5
6	2	2	7

Binnastaka Varga for Moon

5	6	2	3
5			7
5			4
5	3	2	2

Binnastaka Varga for Mars

4	1	4	2
4			4
3			5
3	3	2	4

Binnastaka Varga for Mercury

3	2	6	4
6			5
4			7
4	5	5	3

Binnastaka Varga for Jupiter

6	5	4	5
4			6
6			5
1	7	6	1

Binnastaka Varga for Venus

4	1	3	6
7			4
4			8
5	4	3	3

Binnastaka Varga for Saturn

7	2	2	2
2			4
2			5
4	0	2	7

Vimshamsha

			Su
Ra Ke Sa			Ve
	As Me	JuR Mo	Ma

インド独立運動の指導者

マハトマ・ガンジー (Mohandas Karamchand Gandhi / 1869 ~ 1948)

「マハトマ(偉大な魂)・ガンジー」は、1869年にインド西部カチアワール地方のポルバンドルに生まれた。両親は敬虔なヒンドゥー教徒の裕福な商人であった。特に慈愛と優しさに満ちた母親の影響を強く受けた。毎朝、ガンジー家の門に貧しい人たちが20人も30人も集まってきたのも、この母の決して施しを断らない優しい愛情のゆえだったようだ。やがて、13歳でカストルバイと結婚するが、夫婦生活におぼれて父の臨終に間に合わなかったことがひどく彼の良心を苦しめ、幾度かの失敗を繰り返しながら37歳で完全な禁欲生活に入ってしまった。

ガンジーは弁護士を志し、19歳になった1888年ロンドンに留学する。その異国にあって、彼はインド伝統宗教に目をむけた。1889年、「神の歌」を意味するこの宗教叙事詩『バガヴァッド・ギーター』は、インドの宗教・哲学思想の根本をよく要約しており、ヒンドゥー教徒の座右の聖典とされている。

やがて彼は南アフリカに渡り、そこで有色人種に対する差別を経験、1906年ころには、彼は激しい抗議行動を開始するが、その手法は非暴力主義に立つ不殺生(アヒンサー)を基調とするものであった。1913年10月には、南アフリカのナタール州からトランスバール州への「サチャグラ八行進」を展開、世界的な共感を呼んだ。

インドに帰国したのは、1915年のこと。労働運動とともに独立運動に従事し、インド国民会議派の指導者として活躍する。1919年にはローラット法に反対して最初の不服従運動を指導している。このローラット法というのは、第1次大戦中に高まったインドの民族運動を強圧的に抑制するため、1919年英国植民地政庁のとった立法措置で、裁判なしの投獄、令状なしの逮捕などを可能としたのである。また、1930年には塩専売法反対のための「塩の行進」等を指導している。

1909年夏、ガンジーは新しいアジア人差別の法の撤廃を求めてロンドンにおもむき、その帰途で論文を書き上げた。やがてその論文は『ヒンドゥー・スワラージ』としてまとめられるのだが、そこでガンジーは「近代文明に対するきびしい批判」が展開している。たとえば、「昔は、格闘するには互いに生身の体力を競ったが、今は丘の上に機関銃をかまえば、1人で数千の生命を奪いさることができる。これが文明である」、「私たちの祖先は、機械のつくりかたを知らなかったわけではない。ただそんなものを欲したら徳性を失うだろうということも知っていた。だから熟考したうえで、できる限りのことを、手と足で行うべきであると決めた」とガンジーは書いている。

また、西洋近代がもたらした機械文明の弊害をガンジーは見抜いていた。機械を失業者を増やすものとしてを厳しく批判しているのである。「現在は、一部の少数のものが、大衆の搾取によって生活する事を機械は助けている。この少数者の行為は、人道や人間愛ではなくて、貪欲と欲望である。私は全力を挙げてこれと戦いたい」。西洋近代の機械万能に対する批判は、インド伝統の「手紡ぎ車」の奨励というガンジーの運動にも象徴的に示されている。

宗教的な対立から、インドはインドとパキスタン(現在のパキスタン及びバングラデシュ)の2つに分裂したまま独立することになった。ガンジーはこれに対して、宗教の融和と寛容を訴え、両国の統一に力をそそぎ、独立後もイスラーム教徒とヒンドゥー教徒の融和に挺身したのである。

1948年1月30日、狂信的ヒンドゥー教徒に暗殺されるという悲劇的な最期を遂げた。ガンジーが、銃弾を打ち込まれて発した最後の言葉は、「ヘーイ・ラーマ!(おお、神よ)」であった。